

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見を発表する活動は、積極的に取り組む生徒が多い。 ○漢字コンテストや漢字検定に対して、意欲的に取り組む生徒が多い。一方、文法事項の定着と語彙力に課題が残る。 ○根拠を明らかにしてテーマに沿った文章を書く力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを発表する機会を多くとり、生徒が自ら学びを深められるようにする。タブレット端末を効果的に活用し、自分の考えを発信したり、他者の考えに触れたりして、思考を広げ深めるようにする。 ○文法事項の確認を授業に折り込み、定着を図る。言葉への意識を高め、語彙力向上につなげる。 ○文章を客観的に捉え、見方・考え方を豊かにするように課題設定をする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフ・写真等の資料を読み取り、思考を深める力に課題があり、苦手意識をもつ生徒が多い。 ○自分の言葉で考えを記述することはできていても、そこに具体性や論理性が伴っている生徒は少ない。 ○基礎的な知識の習得に課題がみられる生徒もいるが、意見交流の時間においては積極的な交流が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTやワークシートで様々な資料を提示し、それらの読み取りや、それらを踏まえた発問を授業の中で取り入れる。 ○ペアワークやグループワークの前に、話し合いにおけるポイントやまとめ方を説明し、生徒が見通しをもって思考し、考えを深められるよう、支援を行う。 ○学びに向かう力を育成するため、身近な課題について問う等、生徒の社会科に対する興味・関心を引き出す発問を行うよう工夫する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本的な「知識・技能」の習得については、課題のある生徒が多い。 ○「数学的な見方や考え方」を伸ばす指導の工夫が必要である。 ○自主学習の教材については取り組むことができるが、反復練習をしたり理解したりするまでに至っていない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元テストや定期考査を通じて、生徒のつまづきを発見し、授業で取り入れる問題を精査する。 ○習熟度に応じて、発展的内容を取り入れる。1つの課題を深く検討する時間を設けるだけでなく、類題等にも触れる中で思考力・判断力・表現力を伸ばす工夫をする。 ○自主学習にどのように取り組めばよいのかを指導し、適宜振り返りを行う機会をつくるとともに、反復練習を促していく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○生物分野では、細胞の小器官とその役割について、理解し、知識を定着させることができた。化学分野では、元素記号のテストを行ったが、回数を重ねたことで95%以上の生徒がほぼ覚えた。基礎的で単純な内容については、非常に定着しやすい傾向があり、知識にするための努力もできる。 ○科学的な事象や観察実験の結果からその理由を考えたり、学習したことを身のまわりの生活に生かしたりすることが苦手な生徒が多いため、思考力・表現力・判断力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着を目的に、優しい問題を繰り返して解くことで、自信をもって学習に取り組めるようにする。2学期は100問テストを実施し、1問1答式の総復習を進める。 ○授業でも、自然現象等を日常生活と関連付けて学習を進め、興味関心をもたせ、思考力をのばす問題を出題する。また、定期考査では応用問題を加えて、基礎的な知識を利用して解く問題を出題する。また、観察実験ではレポートを重視し、結果を科学的に考える習慣を身に付けさせる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に音楽活動に取り組める生徒が多い。歌いたい気持ちはあるが、まだ歌唱の発声法が十分身に付いていない。 ○楽譜に書かれているリズムを自分の力で読めなかったり、使いたいリズムと楽譜が一致しなかったりすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身体の使い方や呼吸の仕方などを、丁寧に繰り返し指導して、体得させる。 ○歌唱や器楽の学習時にも繰り返しリズム読みを行うことや創作活動ではパターンを使ったリズム作曲やリズム学習を組み込み、リズムの読譜力が付くようにする。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ○授業に取り組む態度がよく、指示もよく通るが、創意工夫し粘り強く表現活動に取り組むことが苦手な生徒がいる。また、どのように表現すべきか悩む生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた指導を行っていく。 ○意欲に課題がある生徒には、課題を単純化したり、見本を示したり、取り組みやすい内容にしたりする。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動を楽しみ、各種目の競技特性を味わおうとする姿勢が身に付いており、基礎体力が高い。 ○自己の課題を発見し、解決に何が必要かを考え、実行する力に課題がある生徒が多い。 ○タブレット端末による提出物について、提出率が低い傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題発見、課題解決については視聴覚教材を活用しながらゴールイメージをもてるように授業を展開していく。また、技能のポイントを伝えるだけではなく、具体的な体の動かし方を指導する。 ○提出について、毎授業でアナウンスをするとともに、オンラインでの提出を習慣化させていく。

<p>技術・家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に学ぼうとする姿勢が見られる。 ○対話的・協働的な活動に、積極的に取り組むことができる。 ○発展的な課題に対して、深く考えたり表現したりする方法を難しく考えてしまうことで、活動を諦め、意欲が続かない生徒が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒用タブレット端末等のデジタル機器の活用や体験的な活動の設定で、興味関心を高め、さらに主体的な態度を育成する。 ○資料や作業の進め方の例を提示して目標達成までをイメージさせ、理解が技能につながる支援をする。また、繰り返し声をかけるとともに、時間設定を工夫する。 ○対話的・協働的な活動の中で、見方・考え方を広げ、様々な情報を得た上で知識を活用する力を伸ばす。
<p>外国語（英語）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語の語順を英語にも適用する傾向が強く、加えて語彙力不足もあり、ライティングに問題を抱えている様子が見られる。 ○口頭やペーパーテストでの英問英答の際、単語で答えることはできるが、主語・動詞がそろった完成文で答えることに困難さを感じている生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語と英語との文法的な違いを意識させ、演習活動を増やし、基礎力の定着を図る。また、単元テストを行うことで、生徒が復習する場面を増やす。 ○ALT との会話テストやスピーチ、スキット発表などのパフォーマンステストをできるだけ取り入れていく。そうすることで既習文法事項を使用する機会が多くなり、センテンスで答える力の向上が期待できる。